

我が社における自主保安活動シリーズ

(第4回)

高圧ガス保安全国大会で会長表彰を受賞された組織（優良製造所及び優良販売業者）は、長年にわたる保安啓発と自主的な保安活動への取組みを積極的に行っております。

そこで、受賞を契機に高圧ガス災害の撲滅など保安確保の維持向上に努めている活動等を執筆していただきました。

高圧ガスの製造所及び販売事業所で保安に関わる方々には大いに参考になるものと期待しています。2019年1月号（Vol. 56 No. 1）から連載を開始しました。本号では、優良製造所として、雪印メグミルク株式会社 野田工場 工務課長 田中秀和様に、優良販売業者として、十字字ガス株式会社 代表取締役 小関史郎様に自社の保安に対する考え方および今後の抱負などについてご紹介いただきました。他社の保安管理活動への参考になるものと期待しています。

我が社における自主保安活動シリーズの掲載号

- 第1回 我が社の保安安全活動（優良製造所編）（株）サイサンガステクノ 横山義巳 Vol.56 No.1
- 第1回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）（株）サンワ 田部井普 Vol.56 No.1
- 第2回 我が社における保安管理活動（優良製造所編）上毛天然瓦斯工業(株) 平石 誠 Vol.56 No.2
- 第2回 保安レベルの維持向上への取組み（優良販売業者編）紀伊国屋高圧(株) 若林比呂之 Vol.56 No.2
- 第3回 保安レベルの維持向上への取組みについて（優良製造所編）（株）クレハ 小野佐市 Vol.56 No.3
- 第3回 我が社における保安管理活動（優良販売業者編）（株）須山液化ガス 須山光男 Vol.56 No.3

我が社における保安管理活動 (優良製造所編)

雪印メグミルク株式会社 野田工場 工務課 課長

田中 秀和

1 会社概要

雪印メグミルク（以下、「当社」）は、1925年に北海道製酪販売組合の設立から始まり、1926年『雪印』商標にて販売を開始、1950年に雪印乳業が、2009年に雪印メグミルクが誕生し、今日に至っている。

当社はコーポレートスローガン「未来は、ミルクの中にある」のもと、消費者の皆様へ安全で安心していただける牛乳、ヨーグルト、バター、チーズなどをお届けするとともに“乳（ミルク）”の新たな価値を創造すべく積極的に取り組んでいる。

企業理念には『消費者重視経営の実践』『酪農生産への貢献』『乳（ミルク）にこだわる』の3つの使命を果たすことで社会に貢献する企業であり続ける」という私たちの強い思いが込められている。私たちはこれまで酪農乳業界の発展を願い、消費者ニーズに合った魅力的な「ものづくり」を行ってきた。代表例として、日本人の嗜好に合うおいしさを目指した「6Pチーズ」「スライスチーズ」「さけるチーズ」などのチーズや、ロングセラー商品である「雪印北海道バター」「雪印コーヒー」「ネオソフト」がある。さらに最近では当社独自の乳酸菌『ガセリ菌SP株』を使用した「ナチュラル恵 megumi」等のヨーグルトがある。

2 事業所概要

当社野田工場は千葉県北西部の野田市の工業団地の中にあり、柏インターから10分程度の国道16号線沿いにある。

当工場は1989年に操業を開始し、今年で30年を迎える。当初は生産工程自動制御、自動搬送、立体自動倉庫、生産物流管理システムを有する屈指の自動化食品工場であった。現在でも首都圏における当社の基幹工場であり、昨年度の生産量は13万klである。

生產品目は、牛乳・乳飲料、果汁・野菜飲料、ヨーグルトであり、代表的な商品として「雪印メグミルク牛乳」「雪印コーヒー」などの紙容器飲料の他、Dole®ブランドジュース（常温保存可能な紙容器飲料）、キャップ付きの紙容器飲料「BOTTLATTE（ボトラッテ）」、4P型フルーツ入りヨーグルト「ナチュラル恵 megumi」がある。

当工場には見学施設もあり、年間1万



写真1 工場棟外観

5,000人ものお客様にご来場いただいている。

3 冷凍施設概要

冷凍施設は大きく分けて2つあり、1つは生産用で熱媒体としてブラインを使用し、各生産ラインへ冷熱を供給している。もう1つは冷蔵庫用でユニットクーラーを使用している。

生産用冷凍施設にはターボ冷凍機(172.5冷凍トン)2基、スクリュウ冷凍機(40.05冷凍トン)6基、STL蓄熱槽(6,251kWh)(70m³×2基)がある。夜間にスクリュウ冷凍機にてSTL蓄熱槽を蓄熱し、昼間に放熱(ブラインを冷却)することで、冷熱負荷と電力負荷のピークカットを行っている。

冷蔵庫用冷凍施設には40～90kWクラスのユニットクーラーが40台もあるが、各機



写真2 STL蓄熱タンク設備



写真3 冷凍機室内

械がネットワーク化され、監視装置にて24時間連続監視をしており、異常時にはすぐに対応できる体制を整えている。

4 表彰履歴

- 2005年10月 千葉県高圧冷凍設備保安協会 会長表彰受賞
- 2006年7月 関東高圧ガス保安団体連合会 会長表彰受賞
- 2012年10月 千葉県知事表彰受賞
- 2015年10月 高圧ガス保安協会 会長表彰受賞

5 保安レベルの維持向上への取組み

当工場では高圧ガス保安法をはじめとした関係法令に則り、日々自主保安活動を展開している。その中で重視していることは、①決められた作業の確実な実施、②教育訓練による能力の維持向上、③改善の推進、である。

①決められた作業の確実な実施

点検・保全はすべて明確化された計画・作業標準に基づき行われ、保安責任者、主任、管理職にて結果の確認はもちろんのこと進捗確認もあわせて行い、漏れのないようにしている。さらに日常点検・月例点検については保安責任者自らも定期的に行うことで見逃しがないようにカバーし、管理精度向上を図っている。

②教育訓練による能力の維持向上

行政や協会からの法改正や事故事例、指導事項等の情報については都度周知するとともに、行政や協会が開催する各種講習会、技術研修会には保安責任者を中心に毎年参加している。さらに冷凍設備の概要、構造、管理す

る上での注意点・最近の動向などの内容にてメーカーによる勉強会も開催し、作業員の保安意識及び技能の向上に努めている。

訓練については、県及び県高圧ガス地域防災協議会が主催する高圧ガス輸送車等防災訓練に毎年参加し、防災意識の高揚を図ると共に、ISO14001に基づく冷媒漏洩の緊急事態対応訓練や防災訓練を毎年実施し、転入者・新入者に対しても入職時に運転管理訓練を行い、だれもが同じ対応を取れるようにしている。

資格取得については、毎年冷凍機械責任者、第1種冷媒フロン取扱技術者等を受験し、有資格者を確保すると共に能力向上を図っている。

③改善の推進

会社として推進している改善提案制度により、安全、品質、環境、コスト、効率化とさまざまな改善に取り組んでおり、冷凍施設についても保安責任者を中心に取り組んでいる。保

安管理の一例として、点検・保全については、精度を維持しつつ効率化を図るべく、毎年実施内容と頻度の精査・見直しを行い、あわせて作業方法の統一と明確化を行っている。さらに今年度よりJRECOのRaMS(Refrigerant Management System:冷媒管理システム)のテスト運用を行っており(来年度より本格運用予定)、フロン排出抑制法に基づく点検、記録、報告を一元管理することで、管理精度アップと共に効率化も図っている。

6 おわりに

前述の通り、一つひとつ決められたことを確実に守り、人材育成・改善の推進を継続してきたことで、これまでの30年間の無事故、無災害、無違反の継続に繋がっていると考えられる。これからも継続して行くとともにさらなるレベルアップを図って行く。

田中秀和(たなか ひでかず)